



ロータリー：  
変化をもたらす

創立者	昭和32年4月19日
会長	藤岡宏章
会長エレクト	菅生康清
副会長	高橋靖
幹事会	関俊昭
広報会報記録	中林隆男



2017-18年度 地区スローガン

愛着と誇り

事務局（例会場）

橿原市久米町652-2  
橿原ロイヤルホテル4F  
TEL/0744-28-2801（直通）  
FAX/0744-28-2802  
E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp  
TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日

毎週金曜日  
12時30分から13時30分  
Vol. 61 No. 27 (2017-18)  
2018(平成30)年2月2日発行

1月は、「職業奉仕月間」(Vocational Service Month)です。

## 第2963回例会報告書

2018(平成30)年1月26日

司会	副SAA・尾上隆志会員
R.song	それでこそロータリー
ソング・リーダー	森川善隆会員
ピアノ奏者	京田留奈さん
	シユーマン作曲 トロイメライ
	埴生の宿

### ゲスト

卓話講師：SMBC日興証券株式会社  
エクイティマーケティング部 島田貴史氏

### ビジター

竹内一順君（奈良RC、講師随行）  
黒川重之君（やまとまほろばRC）

### 出席報告

正会員43名	出席者30名	出席率76.32%
(1/26)	" 36名	" 94.74%
(1/12補正)		

### ニコニコ箱

◎藤岡会長の心配りで、家内の誕生日にお花をお送り頂き、ありがとうございました。感謝致します。  
……山川 賢会員・増田善昭会員・中谷昌紀会員

### 会長挨拶

- 皆様こんにちは。非常に強い寒波が到来している。都心では53年ぶりの寒さだそうで、-3°C以下が2日連続で続き、さいたま市では-9.8°Cだそうだ。また、インフルエンザが流行っており、体調には十分お気を付け頂きたいと思う。
- 安倍首相が平昌オリンピックの開会式に出席するか否かが話題になっている。周囲の反対があるようだが、「出席する」と発表された。今、北朝鮮の問題など、非常に揺れ動いている。そのような中で、あえて「出席する」という判断をされたようだ。
- 本日の卓話は「日米のマーケット環境について」お話し頂く。日米のマーケットの状況、今後の動向について勉強させて頂きたいと思う。非常に楽しみにしているので、どうぞよろしくお願ひしたい。

### 幹事報告

△例会変更ほか（詳細は掲示板にて。）

- ・五條RC
  - ①2月14日（水）休会
  - ②3月7日（水）創立60周年記念例会の為、変更  
※①②ともビジター受付なし。
- ・やまと西和RC
  - ①2月13日（火）休会 ※ビジター受付なし。
  - ②2月20日（火）生駒RCと合同例会の為、変更  
→2月21日（水）於：あやめ館  
※ビジター受付は2月20日（火）12:00～12:30まで、まさごビル1Fにて。

### 卓話

担当：プログラム委員会

講師：SMBC日興証券株式会社  
エクイティマーケティング部 島田貴史氏



### 「日米のマーケット環境について」

本日の日経平均株価は23,637円で、気付けば日経平均株価はかなり上昇しており、2013年の4月から日本銀行が「日本の株を上げる」という政策をとり、株の上昇に伴い、日本の景気もかなり良くなっている。日本とアメリカで今起こっていること、今後起こり得ることを中心にお話させて頂く。

2018年に想定されているさまざまなリスクについて

- マーケット

- ・日銀のETF買いの縮小

ETF=株と思って頂ければいい。日本のマーケットについては日本銀行が株を買い支えしている。しかし、これが日本の株高を捻出しているという状況もあり、縮小しても良いのではないかということでお、日本銀行が株を買わないのであれば株を買い控える投資家が出てくるという懸念がある。

・仮想通貨急落

最も流通している通貨はドル、その次にユーロ、円と続き、ビットコインという仮想通貨が第6位となっている。仮想通貨に関する企業は数多くあり、それらの株式が下落するのではないかという懸念がある。最も大きなリスクだと思われる。

○政治・経済

・安倍内閣の支持率低下

現状では考えにくい。

政治・経済リスクはさほど大きなリスクではない。地政学リスクにおける北朝鮮情勢が最大の懸念事項。

日本の経済について

○人手不足は景気回復の証

2017年11月の有効求人倍率は1.56倍となっており、人手不足感はますます強まっている。中小企業でも人手不足となっており、景気が良いことの裏返しと言える。2010年から日本の人口は減り続けているが、女性の社会進出などにより総就業者数は増加傾向にある。現在のところはこういったところから労働力が確保できている状況である。

○人手不足は賃上げ・積極投資の呼び水に

失業率が下がれば賃金が上がっていく。2017年11月時点での失業率は2.7%で、1993年以来24年ぶりの水準にまで低下。また、リーマンショック以降、企業の設備投資は回復している状況にある。

○インバウンド需要が消費を底上げ

訪日外国人による需要が日本の消費を押し上げている。訪日外国人数は増加傾向にあり、化粧品や香水等が人気で、ドラッグストアでの購入が多いそうだ。

○米長期金利とドル円

先行きが良好な米経済や税制改革のプラス効果を背景に緩やかに上昇すると見られる。ドル円も112円前後での一進一退が続いている。米財政に絡む問題などから目先は不安定な動きの可能性はあるものの、先行きは米金融政策の正常化が進むにつれて徐々にドル高円安基調をたどる見通し。

○リーマンショック前の好況時と比べて株価に割安感

戦後最長の景気拡大局面の中でTOPIXが高値を付けた2007年当時と比較すると、名目GDP・企業利益ともに上回っており、失業率も低下。消費者物価指数も0.9%で、物が売れて物価が上がっている状況である。一方で、PERや配当利回りといった株価指標は依然として割安水準にある。

○国内企業は多くの項目で過去最高を更新中

企業の売上高・経常利益は右肩上がり。

・注目テーマ①車：自動運転や電気自動車の開発が進んでいる。電気自動車の世界市場シェアは約1%だが、新エネルギー車シフトの動きは世界で加速しており、市場拡大余地は大きい。電気自動車に使用されるリチウムイオン電池など日本企業がトップシェアを占めているものもあり、また日本の自動運転技術も非常に高いと注目されている。

・注目テーマ②生産性革命：FA（工場自動化）が世界的に流行。人工知能ロボットや自動化の導入による従業員削減を企業は積極的に行っている。

・注目テーマ③インバウンド消費は「爆買い」超え：

訪日外国人による消費の恩恵を日本企業は受けやすい状況にあると思われる。

アメリカのマーケットについて

○米金利上昇を促した米税制改革法案成立

税制改革法案が成立し、所得税の税率引き下げなど個人向けで1.1兆ドル、法人税率を35%から21%へ引き下げなど法人向けで0.7兆ドル、全体として1.5兆ドル規模の減税。

○米雇用市場は引き続き良好

失業率は4.1%となっており、2000年12月以来の低水準を維持。それに伴い、賃金も右肩上がり。

○米国経済見通し（GDP実績と見通し）→概ね+2%台前半の安定成長見通し

今、アメリカの経済市場はどこを見ても悪いものはほとんどない。物価の上昇が少し弱い程度で、アメリカの経済は非常に好調。

結論としては日本もアメリカも景気は非常に良い。また実感としてはそう感じない方もいるかもしれないが、統計上は非常に良い。また、しばらくは低金利政策が続くと言われているので、今後の日米の動向に良い意味で期待ていきたい。

【例会ご案内】

2月9日（金）《第2例会》

「今後の日本経済・地元経済」

一般財団法人 南都経済研究所 常務理事

東尾 稔氏

担当：矢吹吉男会員

2月16日（金）《第3例会》

「今日から確定申告が始まるぞ！」

担当：長谷川博章会員

2月23日（金）《第4例会》

職業奉仕部門委員会担当移動例会

3月2日（金）《第1例会》

「東アジア情勢とトランプ政権」

産経新聞 大阪本社

編集局次長兼政治国際部長兼論説委員

長戸雅子氏

担当：プログラム委員会

3月9日（金）《第2例会》

情報集会発表

【同好会】

書道同好会

2月2日（金）・2月16日（金）

→午後2時～ 4階 楓の間

【RAC例会】

〔橿原オークホテルにて、午後7時半～9時〕

2月14日（水）《第1例会》

クラブ奉仕②

2月28日（水）《第2例会》

社会奉仕③

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。